

第2章 対象事業の目的及び内容

2-1 対象事業の目的

J R 可部線は、明治 42 年に横川（広島市西区）～古市橋（安佐南区）間で営業を開始した。

その後、路線を延長し昭和 45 年に三段峡（戸河地町）まで開通し、延長約 56km として、地域交通の一翼を担ってきた。しかし、平成 15 年に可部～三段峡間の約 46.2km が廃止され、現在に至っている。

J R 可部線は、広島市中心部と市北部地域を連絡し、通勤・通学目的として利用されている鉄道路線である。鉄道輸送は大量輸送機関としての公共サービスを提供する役割を担うものであり、市民の足として重要な将来にわたり高いサービスの提供を行うことが可能である。

また、J R 可部線においては、利用者増加や沿線のまちづくりにつながる施策の可能性や活性化方策の展開に必要となるハード・ソフトの施策を検討するため、「J R 可部線活性化協議会」（平成 20 年 9 月 12 日）を設置し、調査・検討してきた協議内容や市民意見を踏まえ「J R 可部線活性化連携計画」（平成 22 年 2 月）が策定された。

一方、近年においてはマイカーに依存するライフスタイルの浸透に伴い、地球環境問題の深刻化、また高齢化の急速な進展など社会情勢の変化を踏まえ、今以上に公共交通機関の必要性が高まることが考えられる。

本事業は、「J R 可部線活性化連携計画」に基づき、河戸地区を含む可部地区の拠点性向上につながるよう河戸地区と可部駅の連絡を強化するため、鉄道路線の電化延伸及び新駅整備により、マイカーから公共交通機関への転換を促すとともに、人と環境にやさしい公共交通機関の機能強化やまちづくり活動による地域活性化を図るものである。

2-2 対象事業の内容

1) 対象事業の種類

鉄道建設の事業

2) 対象事業の規模

本事業は廃線敷を活用して鉄道建設を行うものであり、可部駅終端部から安佐北区亀山南付近に至る約 1.7 kmを対象とし、終端部及び中間部に新駅の整備を行うものとする。

3) 対象事業の実施を予定している区域

広島市安佐北区可部南五丁目～安佐北区亀山南一丁目付近

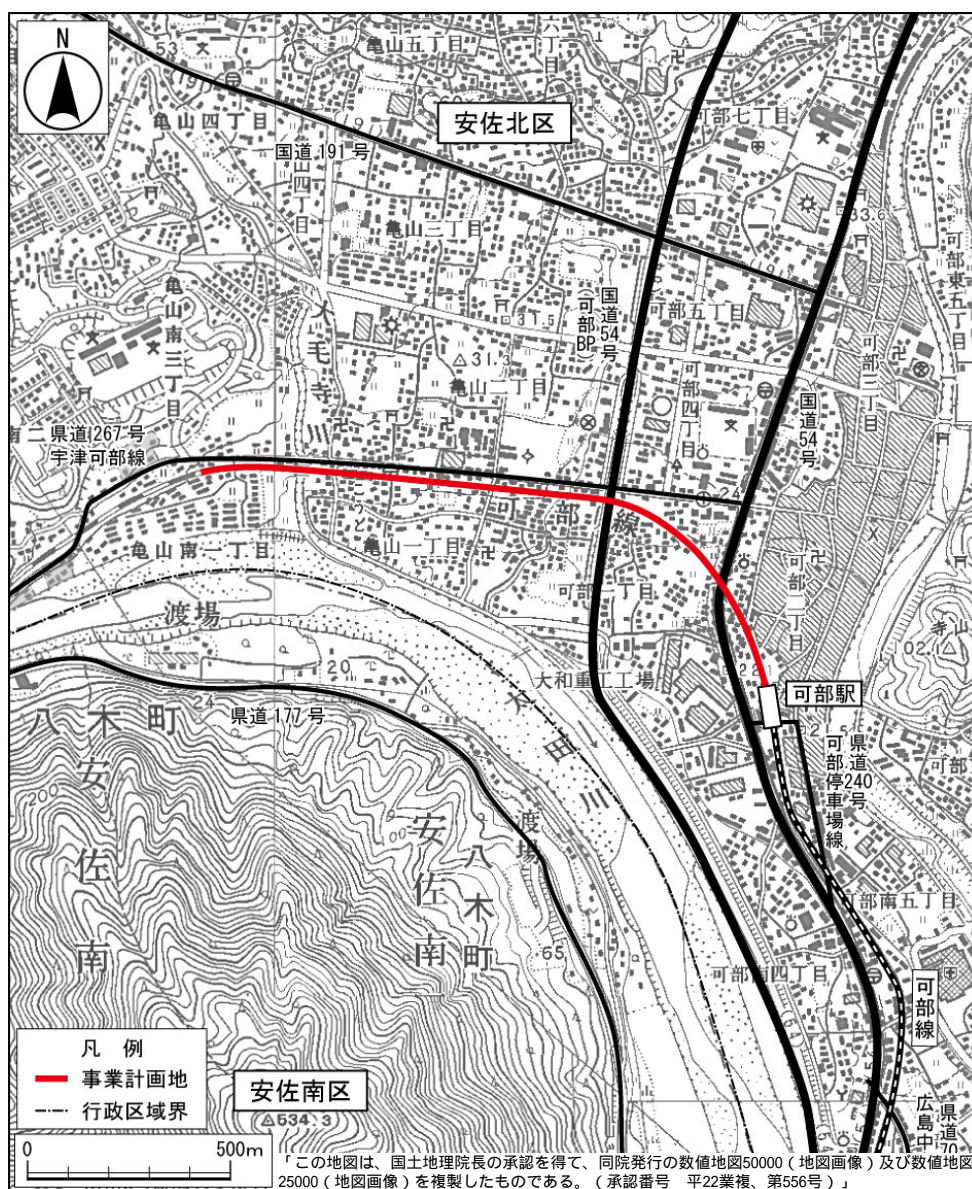


図 2-1 対象事業実施予定地

4) その他既に決定されている対象事業の内容に関する事項

(1) 工事計画

① 工事内容

ア 工事内容

当工事区間は廃線敷を活用して工事を行うものであり、また廃線敷周辺は平坦な区間がほとんどである。

先に不要となる既存設備の撤去を行い、路盤面を仕上げ、施工基面を確保した後で、軌道及び電気設備の施工を行う。

イ 工事用車両の運行

工事用車両は、基本的に各幹線道路から廃線敷を横断している道路を進入口とし、施工することとする。

② 工事工程

平成 23 年度に着手して平成 25 年度に完了する予定である。

(2) 供用計画

① 列車運行計画

本事業計画においては、現行の可部駅における列車運行本数を確保するものとする。

② その他

ア 駅に係る情報

安佐北区亀山南付近（終端駅）と可部駅から終端駅の間に中間駅の整備を行うものとする。